

30年 3月 1日

飯綱町議会議長

清水 満 様

議員 住 所 飯綱町大字倉井239-2番地

氏 名 青山 弘



飯綱町議会政務活動費交付金実績報告書

29年11月28日付飯綱町指令29飯議第59号で交付決定のあった飯綱町議会政務活動費交付金について、飯綱町議会政務活動費の交付に関する条例第8条及び飯綱町議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により収支報告書等を添付し報告します。

記

- 1 交付対象期間 29年 11月 から 30年 3月まで
- 2 事業実績（活動実績、成果及び課題、今後の展望など政務活動全般について記載）

- ・政務活動の主な実績：議員研修会による将来推計人口、社会保障給付費の増加推移及び生活困窮者の自立支援の現状把握。
- ・成果：重要な社会問題としてとらえることができ、一般質問に反映させたい。
- ・課題：重要な問題なので、早く取組むようプレッシャーをかけられるかが課題

3 支出報告書

項 目	交付申請額	支出額	増減
調査研究費	円	円	円
会議研修費	50,000円	31,840円	▲18,160円
広報広聴費	円	円	円
資料購入費	円	円	円
情報通信費	円	円	円
事務費	円	円	円
合 計	50,000円	31,840円	▲18,160円

- 3 政務活動費支出報告書（費用別明細） 別紙
- 4 政務活動報告書 別紙
- 5 領収書等添付用紙 別紙

様式第5号（第4条第3項関係）

29 年度 政務活動報告書兼政務活動費支出報告書

議員氏名

青山 弘



政務活動の概略

活動の名称	自己研修	政務活動番号	1
実施年月日	2月5日	実施場所	東京
参加議員名	清水 均 石川 信雄（複数参加の場合）		

費用項目及び費用別明細書番号

項目	費用別明細番号	合計金額
調査研究費		円
会議研修費	1, 2, 3	31,840円
広報広聴費		円
資料購入費		円
情報通信費		円
事務費		円
支出合計		31,840円

活動内容

活動の目的と意義	委員会質疑で指摘すべきポイント 厚生福祉編
活動の内容	これからの社会保障費について 地域包括システム 地域共生社会の実現に向けて
活動の成果及び課題	元佐賀県武雄市長の経験を通してのこれからの課題 子育て支援、特に貧困家庭への施策 LGBTについて、他の動向
議会活動への反映	30年3月議会一般質問で子どもの貧困について質問予定
備考	別紙にて研修の詳細を報告

※ 活動の内容が確認できる資料、写真等を貼付すること。

※ 政務活動費支出報告書（政務活動報告書）と同様な内容であれば、任意の用紙でも可とする。



活動の名称	自己研修	政務活動番号	1
-------	------	--------	---

公開をしますので重ねて添付しないこと。

費用別明細番号

領 収 証

青山弘 様

30 年 2 月 5 日

★ **¥15,000**

但「委員会質疑で指摘すべきポイント2厚生福祉編」
2/5 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

青山 様

2018年 2月 5日

金16,000円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
長野804 No.000017



領収証

ご利用日付 2018年-2月-5日
時刻 08時45分
券番号: 7838
取引内容: 乗車券購入 金420円

印紙税申告納
付につき上田
税務署承認済 伝票番号: 10086

●ご利用ありがとうございます。

牟礼駅 券01発行
しなの鉄道株式会社

領収証

ご利用日付 2018年02月05日
時刻 18時55分

取引内容: 乗車券類 金420円
購入金額 金420円
お支払方法 内訳
現金

伝票番号: 66785

●この領収証は大切に保存してください。
●毎度ありがとうございます。

長野駅 券306発行
JR 東日本

平成 30 年 3 月 1 日

飯綱町議会議長 清水 満 殿

飯綱町議会義委員 青山 弘



自己研修結果報告書

自己研修の結果を、次の通り報告します。

記

1.研修会等の名称	地方議員研修 予算議会直前 委員会特別講座 厚生福祉編
2.場所	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
3.期間	平成 30 年 2 月 5 日 (月) 14:00~16:30
4.結果	下記の通り

(1) 研修の目的

議員として自己のスキルアップの為

(2) 他の参加議員

石川 信雄、清水 均

(3) 研修内容

前佐賀県武雄市長の樋渡啓祐（ひわたし けいすけ）講師による下記内容の講演会

○テーマ

厚生福祉編 1.これからの社会保障費

2.生活困窮者の自立支援

3.障害者福祉

(4) 所感

1.これからの社会保障費では、将来推計人口（平成 29 年推計）については 30~40 歳の出生動向の改善等を反映し、出生率の仮定が前回推計より上方に設定されたこと等により、人口減少の速度や高齢化の進行度合いは緩和されているものの、少子高齢化というトレンドに変化はない。（さて、飯綱町は子育てに関していろいろな施策を講じているが効果は出ているのか？）社会保障給付費は、年々増加している。その原因は、高齢者医療・介護医療・介護給付費の増に伴うものであり、負担増は公費に集中している。そしてこれを賄う財源が確保されていないため、公費の増えた分は、国債を発行して補っている。これは将来世代に負担を先送りしていることであり、給付と負担のバランス

をとらないと社会保障制度がもたない。

2.生活困窮者の自立支援では、主に子どもの貧困対策に関する武雄市の事例を聞いたが、自分は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が存在することさえ知らなかった。子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、云々。県も取り組んでいることであり、飯綱町は、どう認識し把握し取り組んでいるのか一般質問で聞いてみます。

3.障害者福祉については、第5期障害者福祉計画等に係る国の基本指針の見直しについての説明がありました。

29年3月に告示された基本指針に即して3カ年の「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」を策定しなさい（計画策定期間は平成30～32年度）

- ①.施設入所者の地域生活への移行
 - ②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
 - ③地域生活拠点等の整備
 - ④福祉施設から一般就労への移行等
 - ⑤障害児支援の提供体制の整備等
- ①～⑤は、32年までの成果目標あり、ザックリ言えば、策定した目標値をめざして頑張れという内容でした。